

ニホンジカ四国個体群の生息状況把握と管理対策

(1) 種名 (学名)

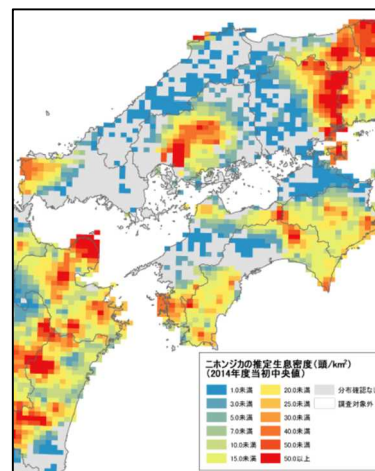
ニホンジカ (*Cervus nippon*) (四国)

(2) 生態の概要

- ・常緑広葉樹林や落葉広葉樹林、草原などに生息する大型草食獣です。
- ・活動は主に薄明薄暮に行われます。
- ・秋 (9月下旬から11月) に交尾し、春 (5月下旬以降) に1頭を出産します。
- ・近年、増加傾向が続いており、四国でも樹皮剥ぎや希少植物の摂食等の農林業被害が深刻になってきています。
- ・全国的にも生息域生息数の拡大が問題視され、環境省および農林水産省では、「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」(平成25年12月)において、「ニホンジカ及びイノシシの生息数を10年後(平成35年度)までに半減」することを当面の捕獲目標に設定しています。

(3) 分布状況の概要

- ・東南アジアから中国の日本海沿岸にかけて広く分布しています。
- ・四国のシカは亜種キュウシュウジカ (*C. n. nippon*) です。
- ・四国では大きく四国東部と西部の2個体群があり、東部個体群が拡大する中で、剣山山系鳥獣保護区では、ほぼ全域で林業被害が発生しています。
- ・近年、生息域は石鎚山系鳥獣保護区まで拡大してきており、石鎚山系でも植生衰退が顕在化しています。
- ・センサーカメラでも鳥獣保護区全域でシカ個体を確認しています。



(4) 中国四国地方環境事務所の取組

糞塊密度調査 (H29以降)、センサーカメラ (石鎚山系：H27以降、剣山山系：H30以降) の設置等モニタリング調査を実施しています。

令和2年度の糞塊調査結果では、剣山山系鳥獣保護区 (10粒以上 27.8個/km[※]) と石鎚山系鳥獣保護区 (同 13.1個/km) に2倍程度の開きがあります。

平成20-28年度には剣山山系鳥獣保護区で糞粒調査法による調査を実施しました。捕獲数等を含めたデータセットから、剣山山系の個体数は、H28(2016)年度末時点で中央値1,758頭 (90%信頼区間^{※※} 183-9,181頭) 程度が生息していると推定しています。

平成 30 年度に剣山山系鳥獣保護区におけるニホンジカ管理計画を策定し、これに基づいて、令和元年度から国指定剣山山系鳥獣保護区においてニホンジカの捕獲を実施しています。令和元年度はオス 56 頭、メス 33 頭、合計 88 頭を捕獲しました。令和 2 年度（捕獲期間：令和 3 年 3-4 月）はオス 34 頭、メス 63 頭、幼獣 6 頭の合計 103 頭を捕獲しました。

※10 粒以上の糞塊が 27.8 個/km あるという意味。

※※90%の確率で推定値 183~9,181 頭の範囲にある。

(5) 他機関、NGO 等の取組

- ・林野庁四国森林管理局では、国有林内でのシカの捕獲および調査を実施しています。
- ・四国森林管理局主催で「四国地域森林ニホンジカ対策連携連絡会」が開催されています。
- ・徳島県は第二種特定鳥獣管理計画を策定し（剣山山系鳥獣保護区（徳島県側）を含む）、県全域でのシカの捕獲および調査を実施しています。同様に愛媛県でも同計画を策定し、石鎚山系鳥獣保護区を含む地域で捕獲を行っています。高知県、香川県でも、同計画を策定し、計画的にニホンジカの個体群管理に取り組んでいます。
- ・高知県香美市や徳島県那賀町等は、剣山鳥獣保護区における捕獲事業を実施しています。
- ・三嶺の森をまもるみんなの会は、国指定剣山山系鳥獣保護区（高知県側）での単木ラス巻き、防鹿柵での林地保護等のボランティア事業を実施しています。
- ・NPO 法人三嶺の自然を守る会は、国指定剣山山系鳥獣保護区（徳島県側）での単木ラス巻き、防鹿柵での林地保護等のボランティア事業を実施しています。
- ・愛媛県石鎚山系生物多様性保全推進協議会は、石鎚山系で増加するシカについてのシンポジウムを開催しています。

(6) 課題

- ・関係機関（環境省、林野庁、徳島県、高知県等）が実施しているモニタリングや捕獲事業成果のデータ共有を進める必要があります。
- ・ニホンジカの個体数調整の担い手である猟友会員・狩猟者の高齢化・減少への対応は全国的な課題であり、四国地域でも同様です。

(7) その他（参考文献、HP 等）

国指定剣山山系鳥獣保護区におけるニホンジカ管理計画

<http://chushikoku.env.go.jp/Tsurugi-deer-MP2019.pdf>

改正鳥獣法に基づく指定管理鳥獣捕獲等事業の推進に向けた全国のニホンジカの密度分布図の作成について（お知らせ）

<http://www.env.go.jp/press/101522>

抜本的な鳥獣捕獲強化対策

<http://www.env.go.jp/nature/choju/effort/effort9.html>

全国のニホンジカ及びビノシシの個体数推定等の結果について（平成 30 年度）

<http://www.env.go.jp/press/105959.html>